



新県庁舎

- 所在／金沢市南新保町 ●総延床／約102,000㎡
- 〔議会庁舎〕●構造／SRC造：B1F～4F ●延床／約12,200㎡
- 〔行政庁舎〕●構造／S造：B2F～19F ●延床／約66,700㎡
- 〔警察庁舎〕●構造／S造：B1F～8F ●延床／約23,100㎡

金沢市南新保町に移転し、建替えられる新庁舎は、県政、県民交流、県政情報、広域防災の拠点を目指す基本方針を実現するため、「人にやさしい」、「環境にやさしい」、「災害に強い」という3つの観点から設計を進めている。

将来の増築、建替えに対応するため、3庁舎と屋外駐車場の部分を「変化するゾーン」として敷地の中央部に配置し、周辺の森を「県民の杜」と位置づけ、「成長するゾーン」として、将来にわたって永く森のイメージが損なわれない計画としている。

金沢駅・港線(50m道路)に正対して、高層の行政庁舎の両側に議会庁舎と警察庁舎が並ぶ3庁舎並立型の建物配置とし、石川の「力強さ」と「繊細さ」を併せ持つ縦格子を基調とした外観デザイン、過去、現在、未来という歴史の連続性を表現する基壇部、胴部、頂部からなる3層構成を採用している。